

いちほらフィールドマップ 草刈・潤井戸

総距離 約5km (移動時間のみで約150分)

スタート **ゴール**

京成電鉄・千原線
ちはら台駅

草刈貝塚

大宮神社 **KU-01**

KU-04
草刈遺跡・
草刈古墳群

KU-03

行光寺

KU-02

草刈堰

草刈33号墳・
川焼瓦窯跡

KU-05

KU-07

本泰寺

KU-06

白幡神社

【凡例】

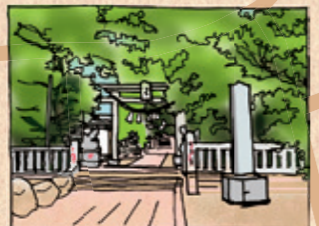
- ◆ 公共施設等
- ➔ 推奨ルート
- 標柱のある歴史遺産
- 主な歴史遺産等
- 消滅した古墳
- 現存する古墳
- 現存する瓦窯跡



上総国分寺創建瓦



大厩浅間様古墳出土遺物



大宮神社



草刈遺跡・
草刈古墳群



行光寺



弁財天神社



大厩浅間様古墳



道標 (潤井戸新田青年館)



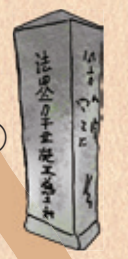
草刈遺跡群出土小銅鐸
(千葉県教育委員会提供)



白幡神社



本泰寺



道標 (潤井戸青年館)





KU-04 草刈遺跡・草刈古墳群

村田川を臨む台地上に広がる大規模遺跡です。市内最古の旧石器のほか、縄文時代の貝塚、弥生時代の環濠集落、古墳時代の集落と古墳群などが見つかり、その数は竪穴住居跡が約4,000軒、古墳は170基に及びます。こちらは台公園内は、草刈古墳群で最も古墳が密集しており、11号墳は古墳群中最大規模の前方後円墳です。



KU-07 本泰寺

かつては光唱寺という真言宗寺院でしたが、文明2年(1470)に日在上人を開基とする顕本法華宗光唱山本泰寺に改めたと伝わります。境内は下野寺谷古墳群の中にあり、入口に建つ文政10年(1827)銘の題目塔は、当山31世の菩提を弔うため筆弟子120人により建立されたものです。また、境内には、寛延3年(1750)銘のある17世の筆子塚があり、寺子屋師匠を輩出しました。



KU-05 草刈33号墳・川焼瓦窯跡

いずれも村田川を臨むまきその自然公園内に保存されています。古墳は墳丘長42メートルの前方後円墳で、草刈古墳群で唯一埴輪を伴います。円筒埴輪は下総型と呼ばれるもので、古墳時代後期の築造です。斜面地に立地する瓦窯跡からは、上総国分寺創建期の屋根瓦が出土しており、村田川の舟運により供給されたと考えられます。



KU-06 白幡神社

欽明天皇13年(6世紀頃)の創建と伝えられ、誉田別命を祭神として祀ります。元和5年(1619)に領主永井尚政により宇宮山から当地へ遷座し、改築したといわれます。家内安全・雨乞いの神として近郷から篤く崇敬されています。現社殿は、昭和55年に改築され、神輿等も新調されました。境内には、寛政元年(1789)銘の手水鉢や明治43年の浅間神社の碑があります。



見学される皆様へ

- ★歴史遺産は、郷土の歴史文化を伝えてくれるかけがえのない財産です。個人所有物であったり、私有地に置かれている場合もありますので、マナーを守って見学しましょう。
- ★駐車場は基本的にありませんので、公共交通機関を利用しましょう。路上駐車や無断駐車は厳禁です。
- ★社寺の境内や墓地は、信仰の対象です。行事が行われていたりする場合もあるので、迷惑にならないよう行動しましょう。
- ★ゴミは必ず持ち帰ってください。
- ★他人の家や社寺など建物の中に、無断で入らないようにしましょう。
- ★見学の際は、所有者の許可を得るのが基本です。特に団体で見学されるような場合は、事前に了承をとるようにしてください。
- ★保存や管理の都合上、公開日が決まっていたり、見学ができない場合があります。事前に確認して、公開日に見学しましょう。

いちばらフィールドマップ

制作・発行：市原市教育委員会

市原歴史博物館 〒290-0011 千葉県市原市能満1489番地 Tel.0436-41-9344 Fax.0436-42-0133

令和7年3月 第1版第1刷発行

I Museum Field

草刈・潤井戸



旧石器時代より人々の生活の痕跡が残り、村田川や茂原街道旧道沿いに発達した草刈・潤井戸エリアは、かつての舟運や水利、往還の面影を色濃く残します。ここでは、東西上総をつなぎ、貨物輸送や人々の往来で賑わう交通の要衝です。

I Museum



KU-01 大宮神社

村田川を臨む高台、草刈遺跡群の一角に鎮座し、大宮姫命を祭神として祀ります。古来より草刈村の氏神様として祀られ、平成6年の社殿改修後には、ちはら台団地の住民からも親しまれています。境内には江戸時代の若者たちが力くらべを行い奉納した力石や、寛政11年(1799)銘の明正神社、各氏子の守り神である末社が9社祀られています。



KU-02 草刈堰

村田川を堰留め、その水を農業用水として利用するために、元和年間(1615~1624)につくられ、菊間・八幡・古市場(現市原市)、村田・浜野村・古市場・南北生実(現千葉市)等へ水を供給しました。当地区は長く管理に携わり、堰留めた水が流れ落ちる音から「どんどん」と呼ばれ親しまれました。河川工事に伴い堰は移動し、付近には水の守り神として弁財天等が祀られています。



KU-03 行光寺

高台に位置する日蓮宗の寺院で、大永2年(1522)に妙満寺23世権大僧都日行上人が創建したと伝わります。土気城主酒井氏による領内寺院の法華宗改宗政策、上総七里法華により、もと顕本法華宗で、浜野(現千葉市)本行寺の末寺でした。境内には寛文3年(1663)銘の灯籠や天保8年(1837)銘の梵鐘、寺子屋師匠だった住職を慕って建てられた文化11年(1814)銘等の数々の筆子塚があります。